

# 豊東小だより

令和3年2月1日 2月号  
練馬区立豊玉東小学校  
校長 梅津 靖子

## 「やさしい頼み方」 そのグッドポイントを考える

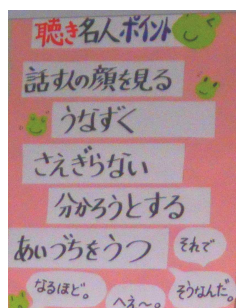
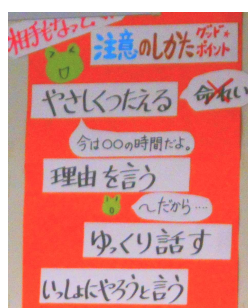
校長 梅津 靖子

まもなく立春を迎えるとはいえ、まだまだ寒さが厳しい毎日ですが、ナメクジやミズが姿を現しているという1年生からの報告もあり、季節は1日1日と春に向かっていくようです。緊急事態宣言のため、学校も教育活動の一部が制限されている状況ですが、寒さにも負けずに外で遊び、学習にも真剣に取り組んでいる子どもたちの様子を見ると、学校生活も1日1日と春に向かってほしいと願わずにはられません。

さて、本校では、「自分の相手も大切にしようとする心を、言葉や態度で表すことができる子ども」の育成を目指し、相手意識をもって行動できるようにするためのスキルを、学級・学年で学ぶ機会をもつようにしています。1月には、3年生の授業を通して、3・4年生で取り組んだ学びが紹介されました。この取組は、練馬区の教育相談の充実を図るための SST(ソーシャルスキルトレーニング)事業を基に、専門の講師の先生をお招きして、校内研究として取り組んでいるものです。今回取り上げたスキルは、「やさしい頼み方」。相手の気持ちや状況をつかみ、頼みごとを伝えるというものです。日常生活の中では、困っている時に「頼む」という関わりがあまり見られず、「頼む」ではなく「命令」になっていたり、適切な言葉と態度でお願いすることが難しいためにトラブルになってしまったりしているという実態から取り上げたスキルです。授業では、授業中、色鉛筆を友達に借りるという場面を設定したやり取りの動画を視聴します。相手の意向も聞かず、乱暴に色鉛筆を取り上げ、しまいには放り投げて返すという内容に、子どもたちからは驚きの声が上がりました。残念なポイントとして、「いいよ。と言っていないのに、勝手に借りた」「人の物なのに、投げて返した」「貸してと言ったけど、理由を言っていない」「言葉遣いが悪い。乱暴」「お礼も言っていない」と、気になる点が次々と出てきました。このことから、上手に頼むには、どうすればよいのかを考え、やさしく頼むことができている2つ目の動画を視聴しました。そして、改めて、4つのグッドポイント①「〇〇さん」と、名前を言う。②理由を言う。③「何を・どうしてほしいか」言う。④やさしくお願いする。を決めました。その後、この4つのポイントを使って、他の場面でも(A:掃除当番が少ないので手伝ってほしい。B:配膳台を拭くときに配膳台のつなぎ目の部分を持ってほしい。)上手に頼めるかどうか、その場面にあったセリフを考え、実際に友達と伝え合う活動をしました。最後は、この学習を振り返り、「人に頼む時は、強く言わずにやさしく言いたい。お礼も言いたい。」「理由もきちんと言えるようにしたい」と、自分の言動の改善策を、具体的に考えることができました。普段の生活の中で実際にありそうな場面を、客観的に見たり考えたりすることで、人と人が上手に関わる、自分の相手



もいい気持ちになる関わり方について、学級の皆とで理解し合えるようになることを目指しています。人と人のコミュニケーションでは、言葉のキャッチボールが大切だと言われています。相手に伝わるように話す。相手の考えや思いを受け止めながら聞く。というやり取りを上手にするには、言葉だけでなく、態度や表情もその大切な要素であることが、学級での共通理解となっていきます。今回のソーシャルスキルの学習は、「よいところさがし」「上手な聴き方」「相手も納得する注意の仕方」に次ぐ4回目。これまでの学習が、今回のグッドポイントを見つけるのに役立っていました。学級の皆とで上手な関わり方を見つけていく学習は、これからも大事にしていきたいと思えます。



もいい気持ちになる関わり方について、学級の皆とで理解し合えるようになることを目指しています。人と人のコミュニケーションでは、言葉のキャッチボールが大切だと言われています。相手に伝わるように話す。相手の考えや思いを受け止めながら聞く。というやり取りを上手にするには、言葉だけでなく、態度や表情もその大切な要素であることが、学級での共通理解となっていきます。今回のソーシャルスキルの学習は、「よいところさがし」「上手な聴き方」「相手も納得する注意の仕方」に次ぐ4回目。これまでの学習が、今回のグッドポイントを見つけるのに役立っていました。学級の皆とで上手な関わり方を見つけていく学習は、これからも大事にしていきたいと思えます。

### 【オリパラ教育・馬頭琴の音色に親しむ(2年生)】

2年生は、オリパラ教育の一環として、馬頭琴の演奏を鑑賞する機会を設けています。これは、国語の教材「スーホの白い馬」の学習と関連を図り、実際に馬頭琴の音色に親しむとともに、モンゴルの文化について理解を深めるという学習です。

今年も、モンゴル出身のエルデン・ダライさんが、悠久たる馬頭琴の調べを聴かせてくださいました。汽車を表す曲では、演奏に合わせて体を動かし、楽しく音楽を聴きました。後半は、モンゴルという国の場所や、その生活や文化について、たくさん教えていただきました。子どもたちも次から次へと質問をして、学びを深めました。

